

リンゴ園で調査 ハダニ天敵奏功

掲載日：令和7年8月23日（土）

日野市百草萬蔵院台りんご生産組合は7月下旬、日野市にある組合員のリンゴ園2カ所で、2回目のハダニの発生状況と天敵製剤ミヤコカブリダニの活動状況を調査した。

調査は組合員2人と南多摩農業改良普及センター1人、JA東京みなみ営農指導担当者1人の合計4人で行った。

前回の調査でハダニの被害があったリンゴ園では、ダニ剤の散布をしており、ハダニの被害痕は残っているが無事に防除ができていた。ミヤコカブリダニは、1回目の調査で7月上旬に導入し、問題なく動いているのが確認できた。

同生産組合の由木勉組合長は、「今後もハダニ天敵製剤やフェロモン剤を使用して減農薬栽培に努め、環境に配慮した農業をしていきたい」と話した。



2回目のハダニ調査をする生産者ら（東京都日野市で）